

シグマ研究委員会

昭和58年度第7回運営委員会議事録

日 時 昭和58年2月18日（金） 13：30～17：30
場 所 原研本部第7会議室
出席者 原田（委員長 原研）
白方（動燃），梶山（東北大），関（雄）（FBEC），中嶋（法大），
山本（FBEC），五十嵐，菊池，田中，松浦（原研）
オブザーバ：飯島，村田，川合（NAIG），神田（九大），
松延（住友原工），浅見（原研）

配布資料

1. 前回議事録（58.1.21）案
2. 大学関係の核データの活動状況
3. 昭和57年度シグマ研究委員会（シグマ特別専門委員会）委員名簿
4. 科学研員エネルギー（核融合）特別研究資料
5. 核構造データWG資料（Dr. M. Bhat からの手紙他）
6. FP核データWG資料
7. 核融合核データWG資料
8. ガンマ線生成核データWG資料
9. 核データ評価WG実験法評価サブWG資料
10. " 中重核データサブWG資料
11. " 重金属核データサブWG資料
12. " ガス生成核データサブWG資料
13. ファイル作成WG資料

1. 前回議事録確認

資料1により確認を行い，一部の誤りを訂正して承認された。

2. 大学関係の核データ活動

梶山氏から資料 2.4 により大学関係の核データ活動の現状として 57 年度の科学研究費エネルギー特別研究(核融合, トリウム燃料)で行った活動の概要について説明があった。

両テーマとも今年度で一応の区切りをつけ来年度からは新テーマでやることになるとのことであった。

3. 熱中性子文献グループの今後の処置

五十嵐氏から熱中性子文献グループの解散に伴う処置について次のような説明があった。この活動を引き継いでくれるところを探すため, 京大炉の研究会の際に木村氏に話をしたところ渋谷氏(京大炉)に打診してみるとのことであった。

4. 核構造データWGの mass chain evaluation

前回の会合で指摘のあった mass chain evaluation の今後の計画について, 中嶋氏から資料 5 により事情の説明がなされるとともに, $A = 177$ の評価については今回限りの条件で引き受けることにしたいとの考えが表明され, 了承された。

5. 学会特別会合

梶山氏から, 3月29日の核データ・炉物理合同特別会合の講師のうち, 関泰氏が中川正幸氏または前川 洋氏に変更になることが報告された。

6. ワーキンググループ57年度活動状況及び58年度計画(各WGとも説明の内容は省略し, 議論のあった事項のみを記す。)

(1) FP核データWG(川合)

資料 6 により説明があった。

JENDL-2 の FP 核データは NEANDC の Topical discussion との関係もあるので完成を急いで欲しいとの要請があった。

(2) ガンマ線生成核データWG(川合)

資料 8 により説明が行われた。ガンマ線生成核データの評価作業の分担の仕方について議論があった。またデータの現状, 評価作業のスケジュール, 計算コードなどについて質疑応答があった。

(3) 核融合核データWG(神田)

資料 7 により説明がなされた。FNS 用核データの今後の評価作業のスケジュー

ール、核融合炉・遮蔽定数WGのDDXサブWGの作業との関連等について質疑応答があった。

(4) 実験法評価サブWG（村田）

資料9により説明があった、報告書の作成手順・スケジュールについての質問、評価者側から実験者に希望する事項がまとめられないか等の要望があった。

(5) ガス生成核データ サブWG（飯島）

資料12により説明が行われた。対象とする核種・反応の種類は決まっているのか、特殊目的核データとの関係等の質問があった。

(6) 核データ評価WG（飯島）

核データ評価WG内での核データ評価の分担に関連して、重核データの作業グループの必要なことが説明された。重核データについては、積分データのadjustment手法により同時評価を行うことを考えている等の話があった。

(7) 中重核データサブWG（菊池）

資料10により説明があった、ガス生成核データサブWGの作業との調整、扱う核種の範囲について討論があった。

(8) 重金属核データ・サブWG（松延）

資料11により説明があった。 ^{209}Bi データの評価の是非、必要度について議論があった。また、メンバーの配分を再検討する必要があるとの指摘があった。

(9) ファイル作成WG（浅見）

資料13により説明があった、FP核データWGの作業との調整の必要のあること。データ評価の分担表にはタイムスケジュール、作業マップがあるとよい等の指摘があった。

これら各WGの活動報告、計画に関連して、核融合核データWGは、核データ専門部会内の他WGの行き方とかなり異なるが、このまゝでよいか、核融合のコミュニティとのかゝわり方を核データ評価と言うことでなくもっと広い立場で考えてもよいのではないか等の議論があり、核データ専門部会内で検討してもらうことにした。

また、重核データサブWGには重金属核データサブWGを吸収したらどうか

との意見も核データ専門部会で検討することにした。

7. 58年度本委員名簿作成

事務局より、過日行ったアンケート調査の結果について報告があり、それにもとづいて58年度本委員の人事について審議を行った。その結果、次のように処置することにした。

- 本委員辞任：坂本正誠氏（原研）
- 新委員：菅原 彬氏（MAPI）
- 運営委員の交替：山本正昭氏（FBEC）→村田 徹氏（NAIG）

なお、WGメンバーの追加は、各WGから出されている資料を事務局で整理・検討して決めて、発令手続きを進めるとともにその結果を次の運営委員会で報告することにした。また、熱中性子文献グループ・メンバーの発令をどうするかについても検討することにした。

次回は3月25日（金）13：30より原研で行う予定。